

# 北方四島 交流の軌跡

～写真でたどる「ビザなし」交流の30年～



Какими мы были

令和元年度第3回訪問(後継者:国後島)  
絵画教室(古釜布(文化会館))

公益社団法人 北方領土復帰期成同盟  
(北方四島交流北海道推進委員会)

## 注1 掲載写真について

この冊子では、北方四島交流北海道推進委員会が主催(実施)した北方四島交流事業(他団体との共催事業等を含む。)において記録・広報用に撮影した写真(画像)のほか、関係団体等から提供された写真を編集・掲載しています。

※比較的初期の写真はネガフィルムをデジタル化したものを使用しています。

※四島交流事業は、これまで主に当団体及び北対協の他、学術・文化・社会等の専門家(大学・研究機関等)等により実施されています。

## 注2 団体名の表記について

この冊子では、紙幅等の関係から、団体名について、次のように略称により記載している場合があります。

(関係団体の略称)

団体名	略称	備考
(独)北方領土問題対策協会	北対協	北方四島交流事業の実施
※北方四島交流推進全国会議	全国会議	※平成15年度から北対協が業務を引継ぎ
(公社)千島齒舞諸島居住者連盟	千島連盟	自由訪問事業の実施
(公社)北方領土復帰期成同盟	北方同盟	北方四島交流事業の実施
北方四島交流北海道推進委員会	道推進委	※平成22年度に組織統合
北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会	北隣協	根室管内1市4町が設置する協議会 (根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町)
北海道	道	北方墓参事業の実施

※1 (独): 独立行政法人。(公社): 公益社団法人。

※2 政府の担当省庁: 訪問事業は内閣府、受入事業は外務省が担当しています。

## 1 はじめに

2

## 2 北方四島交流とは

3

北方四島交流の目的や取組の経過、訪問・受入事業の概要（例）、代表者間協議について掲載。

## 3 交流の歩み

7

平成4(1992)年度からの訪問・受入事業で、どのような行事・プログラムを行ってきたのか、年ごとに順を追って写真等を掲載。併せて、年ごとの事業の実施概要のほか、訪問・受入の団編成や対話の進め方、団員の自発的な活動の状況等を付記。

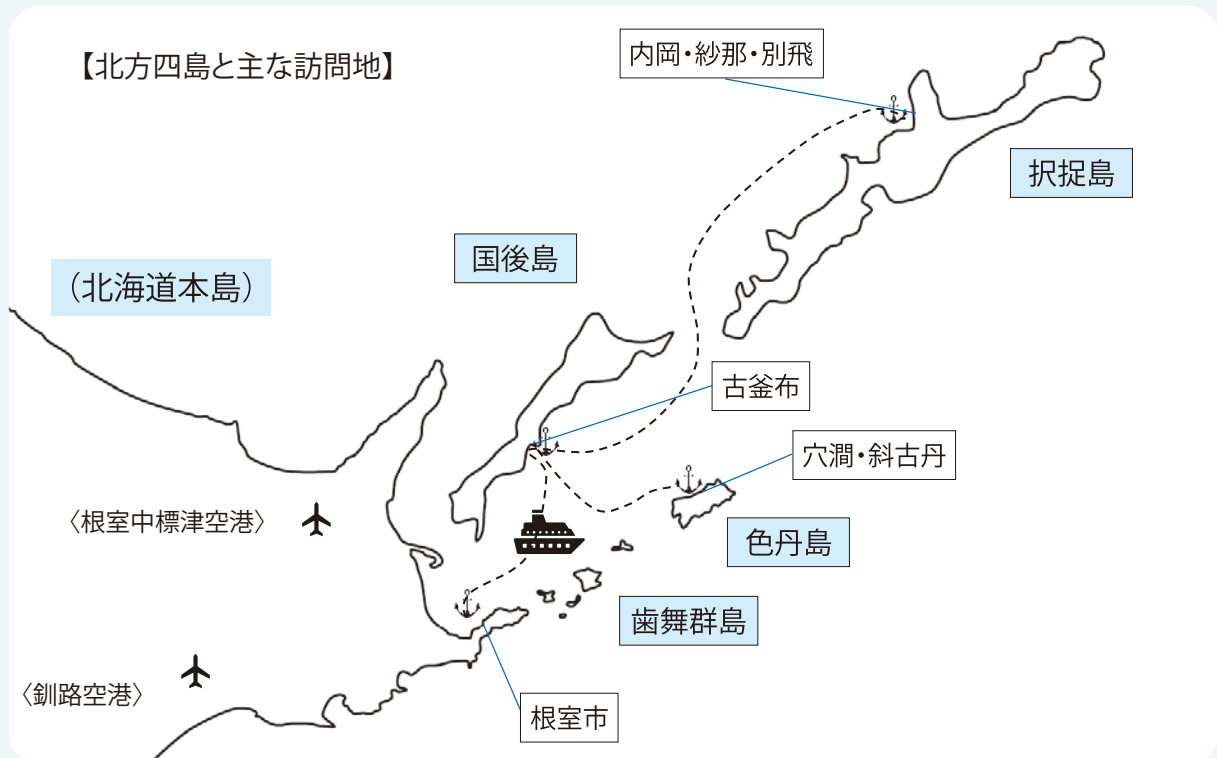
## 4 交流を取りまく環境の移り変わり

69

交流事業を取りまく環境がどのように変わってきたのか、交流で利用する施設や生活、交通手段といったテーマ別に写真を掲載。

## 【資料編】

- ・北方四島交流をめぐる主な出来事（主要事項年表）…………… 88
- ・北方四島交流による相互訪問の回数・人数（実績表）…………… 89



〔(独)北方領土問題対策協会提供の白地図をもとに作成〕

## はじめに

平成4年度に北方四島交流事業がはじまってから30年が過ぎました。この間、当団体は、日本人の訪問や四島在住ロシア人（ロシア人住民）の受入、訪問・受入地での交流事業を実施し、両者間の相互理解の増進を図ってまいりましたが、誠に残念なことに、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症を巡る状況や本年度のウクライナ情勢により、事業を実施できていません。

こうした状況ではありますが、30年の経過を一つの区切りとして、これまでに撮りためた写真を活用し、北方四島交流事業を紹介する「北方四島交流記録写真集」を作成いたしました。

この写真集では、まず「北方四島交流とは」として図表等でその概要を示した上で、「交流の歩み」として、訪問・受入事業でどのような交流プログラムを行ってきたのか、年ごとに順を追って写真等を掲載しています。併せて、「交流を取りまく環境の移り変わり」について、比較できるように写真等を掲載しています。

本書によって、事業に参加したことのある方は改めてロシア人住民との交流を思い起こし、また、参加したことのない方は交流の一端を感じ取っていただきたいと存じます。そうして、本書を北方四島交流について理解を深めるための材料として活用いただきたいと思います。

最後に、本書の作成にあたりご助言等をいただいた関係団体及び関係の皆様へ改めてお礼申し上げます。また、現下の情勢が改善された際に北方四島交流事業をいち早く再開できるよう関係機関と連携し対処して参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年2月

公益社団法人北方領土復帰期成同盟  
(北方四島交流北海道推進委員会)

# 北方四島交流とは

## 北方四島交流【いわゆる「ビザなし交流」】とは、

日ロ政府間で設定された枠組みに基づき、北方領土問題解決までの間、日本国民と四島在住ロシア人との間の相互理解の増進を図り、領土問題の解決に寄与することを目的として行っている、旅券・査証なしによる相互訪問・交流事業。

### 取組の経過等

●平成3(1991)年度、日ソ外相間の往復書簡により北方四島交流の枠組みがつくられる。

●平成4(1992)年度、道推進委(当団体)が設置され、事業を開始。

●平成5(1993)年度、全国的な組織(全国会議(北対協))が設立され、事業を開始。

●当初は手探りで事業を開始したが、相互の訪問・交流の積み重ねによって、不安や誤解が払拭され、信頼関係に基づいたより深い交流が可能になるなど、相互理解の増進が図られてきた。

●事業の環境や住民意識の変化も踏まえながら、交流行事への参加や意見交換等を通じて相互理解が更に深められるよう、プログラムの工夫などに取り組んできた。

●平成22(2010)年度からは、メインプログラムとして住民交流会(スポーツ・文化交流等の後に意見交換会を行う。)を行うようにした。

●北方四島交流は、「領土問題解決のための環境整備(環境づくり)の一環として相互理解の増進を着実に図ってきており、領土問題が未解決の現状において重要な意義を有する」との政府の認識等も踏まえ、各界各層の幅広い参加、特に若い世代の参加・交流を促すなど、より効果的な事業となるよう努めているところ。

※北方四島交流の取組状況や訪問手続等については、北方同盟のホームページにも掲載しています。

(<https://www.hoppou-d.or.jp/cms/cgi-bin/index.pl?page=index>)



# 訪問事業の概要 [例]

訪問事業では、最近は次のように交流を進めています。

訪問事業では、元島民の方や返還要求運動関係者等による訪問団を結成して、択捉島や国後島、色丹島を訪問し、訪問先のロシア人住民との住民交流会（スポーツ・文化交流等の後に意見交換会を行う。）やホームビジットなど様々なプログラムを実施しています。なかでも意見交換会では、友好関係や相互理解が深まるよう、生活・文化など身近なことをテーマに意見交換を行っています。（島内でのプログラム等は、双方からのアトラクションを含め四島側と調整し、つくります。）

▼主に令和元（2019）年度第5回訪問事業（教育関係者・青少年）の例によるもの

## 前日



結団式・研修会

## 初日

出 港  
船 内 泊  
[島内泊]



出発式



乗船・出港



元島民の講話・ロシア語講座

## 2日目

島 内  
船 内 泊  
[島内泊]



日本人墓地墓参



学校訪問



ホームビジット

## 3日目

島 内  
船 内 泊  
[島内泊]



住民交流会（スポーツ交流（少林寺拳法）・意見交換会）



夕食交流会



## 最終日

帰 港  
解 散



解団式



帰港・下船



記者会見

※国後島訪問では島内の「友好の家」泊が恒例となっています。

# 受入事業の概要 [例]

受入事業では、最近は次のように交流を進めています。

受入事業では、根室管内1市4町をはじめ北海道内の様々な団体の協力をいただき、日本・日本人への理解や信頼関係の向上、相互理解が深まるよう、四島在住ロシア人の訪問団を受け入れ、日本文化体験・スポーツ交流などの各種交流行事や生活・文化等をテーマとした意見交換、都市・商業施設・社会学習施設等の視察等を行っています。

▼主に令和元（2019）年度第1回受入事業（ファミリー）の例によるもの

## 初日

入港  
移動



入港・下船



オリエンテーション・元島民の講話



歓迎式

## 2日目

受入地



歴史文化学習施設視察



意見交換会



プール体験

## 3日目

受入地



書道体験



地域住民との交流



そば打ち体験

## 4日目

受入地



搾乳体験



学校訪問



ホームビジット

## 最終日

出港  
帰島



納沙布岬視察



記者会見



乗船・出港



# 代表者間協議

(四島交流事業の実施計画等の実務的な協議の場)

代表者間協議とは、四島交流事業の実施計画及び実施方法等について、日本側及び四島側の実施団体（代表者）の間で実務的な協議を行うために、平成4(1992)年度の事業開始当初から実施しているものです。



平成4(1992)年11月26日  
(札幌市)

平成26(2014)年3月20日  
(ユジノサハリンスク市)



平成31(2019)年3月7日  
(札幌市)



## 交流の歩み

---

## 交流のはじまり・出迎え

### 友好の泉（友好の証）の石碑（石板）



平成4年度  
第4回訪問  
択捉島



中標津町(中標津町ホームページ)



択捉島(平成29年度第4回訪問)

※この石碑は、平成4年度第4回訪問団(団長:中標津町長)が択捉島を訪問した際に、四島側(「クリル地区議会議長」)から「友好の証」として贈られたもので、中標津町役場前の「いこいの広場」に設置されています(写真左)。もう片方は、択捉島紗那旧市街地を見下ろす広場に設置されています(写真右)。

### 四島への上陸・下船



平成19年度第3回訪問(国後島・はしけ移乗)



令和元年度第2回訪問(色丹島・接岸)

## 交流のはじまり・出迎え

【歓迎～パンと塩・横断幕～】 ※左側の写真は四島側が来客歓迎の伝統儀式であるパンと塩を提供する様子。

### 訪 問



ふるかまづぶ  
平成4年度第1回訪問（国後島古釜布港）



ふるかまづぶ  
平成11年度第4回訪問（国後島古釜布港）

### 受 入



平成4年度第4回受入（花咲港）



平成4年度第3回受入（花咲港）

※左の写真の横断幕には、日本語で「日本の皆様 クナシリへようこそおいでくださいました」と書かれています。



あなま  
平成27年度第2回訪問（色丹島穴澗港）



平成20年度第2回受入（根室港）

※右の写真の横断幕には、ロシア語で「ようこそ（ダブロー パジャーラヴァチ）」と書かれています。



# 1992年度 訪問

平成4年度

平成4年度北方四島交流訪問事業（計6回・268名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島・色丹島・択捉島	5/11～5/17	中田 州哉 (道領对本部長)	45名	北海道主催
第2回	国後島	7/11～7/13	村田 雄平 (道推進委員会会長)	45名	
第3回	色丹島・志発島	7/14～7/16	大矢 快治 (根室市長)	45名	
第4回	択捉島	7/17～7/20	進藤 松吉 (中標津町長)	43名	
第5回	国後島	10/5～10/7	佐野 力三 (別海町長)	45名	
第6回	色丹島	10/8～10/12	山本 信夫 (道根室支庁長)	45名	



ロシア人住民の歓迎（第1回・国後島）



「行政府」表敬訪問（第1回・国後島）



夕食交流会（第2回・国後島）



対話集会（第3回・色丹島）



幼稚園訪問（第3回・色丹島）



# 1992年度 受入

平成4年度

平成4年度北方四島交流受入事業（計5回・232名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	根室市・札幌市・ 標津町・中標津町	4/22～4/27	テレシコ,ミハイル・イワ ノビッチ（国後島）	19名	北海道主催
第2回	根室管内1市4町	6/20～6/23	オフチニコフ,ニコライ・ セルゲエビッチ（国後島）	48名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/30～8/2	バルカーシン,イーゴリ・ ワシリエビッチ（国後島）	60名	根室支庁・青少年受入 根室管内実行委員会主催
第4回	根室市・釧路市・ 別海町・標津町	8/30～9/2	ゴロジャンキン,セルゲイ・ ワレンチノビッチ（国後島）	99名	
第5回	札幌市・根室市・ 東京都	11/25～11/29	テレシコ,ミハイル・ イワノビッチ（国後島）	6名	代表者間協議 北海道主催



表敬訪問（第1回・札幌市）



対話集会（第2回・根室市）



歓迎太鼓（第3回・根室市）



市街地散策（第3回・中標津町）

- 平成4年度、日本人、四島在住ロシア人双方の熱烈な歓迎を受けながら、北方四島交流事業をはじめました。
- 訪問・受入ともに、交流プログラムとして、スポーツ・文化交流、ホームステイ・ビジット、施設視察等とともに、北方領土問題について率直な意見交換を行う場として対話集会を行うようにしました。

# 1993年度 訪問

平成5年度

平成5年度北方四島交流訪問事業（計6回・282名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/14～5/16	守 東治 (羅臼町助役)	47名	
第2回	択捉島	5/17～5/20	奥田 政次郎 (別海町企画財政部長)	45名	
第3回	国後島・色丹島・択捉島	8/6～8/11	横路 孝弘 (北海道知事)	46名	北海道主催
第4回（青少年）	色丹島	8/13～8/16	清野 満 (道根室支庁長)	48名	
第5回	色丹島	10/15～10/17	一條 弘道 (根室市収入役)	48名	
第6回	国後島	10/18～10/20	佐久間 慎一 (中標津町助役)	48名	



古釜布港出港（色丹島へ）（第3回・国後島）



ピン取りゲーム（第4回・色丹島）



意見交換会（第4回・色丹島）



学校訪問（第5回・色丹島）



ホームステイ（第6回・国後島）



## 1993年度 受入

平成5年度

平成5年度北方四島交流受入事業（計6回・273名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	中標津町・釧路市・根室市	4/22～4/26	グルシコーワ、ガリーナ・ウラジミロブナ（国後島）	46名	
第2回	羅臼町・別海町・中標津町・根室市	6/12～6/16	ノビコフ、ニコライ・ミハイロビッチ（国後島）	49名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/30～8/2	インドゥイク、ウラジーミル・ワイリニビッチ（国後島）	59名	北方同盟と共催
第4回	標津町・中標津町・浜中町・厚岸町・釧路市・根室市	9/18～9/22	ドーリン、ゲンナージー・ゲンナジエビッチ（択捉島）	47名	
第5回	札幌市・根室市	11/29～12/3	セミコフ、ユーリー・アレクサンドロビッチ（国後島）	65名	
第6回	札幌市・根室市・東京都	1/9～1/14	ポキージン、ニコライ・アンドレエビッチ（国後島）	7名	代表者間協議 北海道主催



園児の歓迎（第1回・釧路市）



鉄道体験（第3回・根室市）



対話集会（第4回・中標津町）



茶道体験（第5回・札幌市）

- 平成5年度から、次代を担う青少年の訪問事業をはじめました。学校生活等をテーマに四島側の青少年との意見交換を行いました。（ロシア人青少年の受入は、平成4年度から実施。）

# 1994年度 訪問

平成6年度

平成6年度北方四島交流訪問事業（計4回・189名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/11～5/13	片木 淳 (道総務部長)	48名	
第2回	択捉島	5/14～5/17	伊藤 肇 (中標津町教育長)	48名	
第3回	国後島・色丹島	7/4～7/8	大矢 快治 (根室市長)	46名	北隣協主催
第4回（青少年）	国後島	8/10～8/13	中川 明生 (道教委根室教育局長)	47名	
第5回	色丹島	（北海道東方沖地震発生により中止）			
第6回	択捉島	（北海道東方沖地震発生により中止）			



ホームステイ（第2回・択捉島）



ダーチャ(別荘)訪問（第3回・国後島）



対話集会（第3回・色丹島）



日口青少年で合唱（第4回・国後島）



相撲（第4回・国後島）



## 1994年度 受入

平成6年度

平成6年度北方四島交流受入事業（計4回・275名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回	根室市・標津町・ 網走市・美幌町・ 北見市	4/22～4/27	セミコフ、ユーリー・アレクサンドロビッチ （国後島）	70名	
第2回	釧路市・中標津町・ 羅臼町・根室市	6/8～6/13	シュリヤーチェフ、アナトリー・フォードロビッチ （色丹島）	75名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/22～7/25	ゼムコワ、マルガリータ・ニコラエブナ （国後島）	60名	北方同盟と共催
第4回	根室市・別海町・ 標津町・音更町・ 帯広市・厚岸町	9/14～9/20	ポキージン、ニコライ・アンドレイビッチ （国後島）	70名	



対話集会（第1回・根室市）



保育園訪問（第2回・中標津町）



ファイアーストーム（第3回・根室市）



ホームビジット（第4回・標津町）

- 平成6年10月4日、北海道東方沖地震が発生しました。震源に近い色丹島を中心に北方四島では大きな被害が生じたことから、直後の事業を中止するとともに、翌年度の訪問事業でも住宅被害によりホームステイ（宿泊）が実施できないといった影響を受けました。

# 1995年度 訪問

平成7年度

平成7年度北方四島交流訪問事業（計5回・237名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考	
第1回	色丹島	5/13～5/15	鈴木 章四郎 (中標津町議会議員)	46名		
第2回	択捉島	(悪天候により中止)				
第3回 (青少年)	択捉島	7/27～7/31	大場 宏 (道教委根室教育局長)	47名	全国会議と共催	
第4回 (ファミリー)	国後島	8/1～8/4	中井 和夫 (道領対本部長)	48名		
第5回	色丹島	10/4～10/6	小林 勲 (別海町議会副議長)	48名		
第6回	国後島	10/7～10/9	成田 猛 (根室市議会副議長)	48名		



ホームビジット（第1回・色丹島）



バスケットボール（第3回・択捉島）



工作教室（第3回・択捉島）



意見交換会（第3回・択捉島）



徒競走（第4回・国後島）



# 1995年度 受入

平成7年度

平成7年度北方四島交流受入事業（計5回・292名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回	根室市・中標津町・別海町	4/23～4/28	オフチニコフ、ニコライ・セルゲエビッチ（国後島）	73名	
第2回	根室市・標津町・羅臼町・釧路市・厚岸町	6/9～6/14	メドページェフ、ドミートリー・スタニスラポビッチ（国後島）	84名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	8/10～8/13	スコワチーツィナ、ワレンチーナ・ミハイロプナ（国後島）	60名	北方同盟と共催
第4回	根室市・常呂町・旭川市	9/21～9/26	レスニャク、ウラジミール・ワシリエビッチ（国後島）	69名	
第5回	札幌市・東京都	1/22～1/27	オフチニコフ、ニコライ・セルゲエビッチ（国後島）	6名	代表者間協議 全国会議と共催



剣道体験（第1回・中標津町）



千人踊り参加（第2回・羅臼町）



パークゴルフ体験（第3回・別海町）



対話交流会（第4回・旭川市）

- 平成7年度から、ファミリー訪問事業として、親子、夫婦等を中心に訪問団を編成し交流する取組も行いました。
- 青少年訪問事業では、全国会議との共催により、北海道の青少年だけでなく、東京、沖縄等の青少年も参加して交流を行うようにしました。
- 受入地について、この頃から、道東地域（根室・釧路・十勝・オホーツク）以外の道内の各地でも行うようになりました。

# 1996年度 訪問

平成8年度

平成8年度北方四島交流訪問事業（計6回・282名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/25～5/27	辻中 義一 (羅臼町長)	48名	
第2回	択捉島	5/28～5/31	松實 茂大 (中標津町収入役)	48名	
第3回（青少年）	色丹島	7/25～7/28	谷本 博 (柏陵中学校校長)	48名	全国会議と共催
第4回（ファミリー）	択捉島	7/29～8/2	須郷 英喜 (中標津町教育長)	47名	
第5回	色丹島	9/3～9/6	坂本 伊助 (中標津町住民生活部長)	46名	
第6回	国後島	9/7～9/9	土居 博昭 (道推進委員会会長)	45名	



サッカー（第3回・色丹島）



対話集会（第4回・択捉島）



幼稚園訪問（第4回・択捉島）



ホロボード（第4回・択捉島）  
※ロシアの民族舞踊（輪になって踊るダンス）



ホームステイ（第6回・国後島）



# 1996年度 受入

平成8年度

平成8年度北方四島交流受入事業（計4回・277名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回	七飯町・函館市・根室市	4/18～4/23	グルシコーワ、ガリーナ・ウラジミロブナ（国後島）	69名	
第2回	根室管内1市4町	6/6～6/11	オフチニコフ、ニコライ・セルゲエビッチ（国後島）	76名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	6/27～6/30	スコワチーツィナ、ワレンチーナ・ミハイロブナ（国後島）	60名	北方同盟と共催
第4回	根室市・網走市	9/26～10/1	チマコワ、タチャーナ・ガブリロブナ（国後島）	72名	



対話集会（第1回・函館市）



「四島交流会話集」での会話（第2回・別海町）



学校訪問（第3回・根室市）



ボーリング体験（第4回・根室市）

# 1997年度 訪問

平成9年度

平成9年度北方四島交流訪問事業（計7回・324名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島・色丹島・択捉島	5/19～5/23	堀 達也 (北海道知事)	42名	北海道主催
第2回	択捉島	7/7～7/10	嶋津 隆之 (根室市議会議員)	48名	
第3回 (ファミリー)	色丹島	8/1～8/4	伊澤 崇 (北方四島交流根室市実行委員会)	48名	
第4回 (青少年)	国後島	8/6～8/9	渡部 英昭 (道教委根室教育局長)	48名	全国会議と共催
第5回	色丹島	9/9～9/11	中村 一也 (羅臼町教育長)	47名	
第6回	択捉島	9/13～9/16	岡部 弘太郎 (標津町教育長)	47名	
第7回	国後島	9/30～10/2	影井 豪之助 (元島民)	44名	



対話集会（第1回・国後島）



ホームステイ（第2回・択捉島）



折り紙（第2回・択捉島）



ダンスパーティー（第4回・国後島）



「パン」食い競争（第4回・国後島）



# 1997年度 受入

平成9年度

平成9年度北方四島交流受入事業（計6回・280名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	根室市・釧路市・厚岸町	4/23～4/29	ゼーマ、ウラジミール・アレクセエビッチ（国後島）	78名	
第2回	根室管内1市4町	6/5～6/10	スモルチコフ、ワレンチン・アレクセエビッチ（国後島）	75名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	6/26～6/29	スタロポイトワ、ナジェージダ・パプロブナ（国後島）	60名	北方同盟と共催
第4回（農業・教育専門家）	根室市・中標津町・別海町・釧路市	10/3～10/14	ジャポーフ、サリフ・ハサノビッチ（農：色丹島） バービナ、アジェンダ・ワレンチーナ（教：択捉島）	8名	
第5回	札幌市・根室市	10/15～10/22	コーワリ、イーゴリ・ミハイロビッチ（国後島）	53名	
第6回	札幌市・東京都・根室市	1/30～2/3	バルカーシン、イーゴリ・ワシリエビッチ（国後島）	6名	代表者間協議 全国会議と共催



着物着付（第1回・釧路市）



対話集会（第1回・根室市）



学校訪問（第3回・中標津町）



ホームステイ（第5回・札幌市）

- 平成9年度には、四島側の農業及び教育の専門家を受け入れる事業を行いました。  
なお、専門家の交流事業は、平成10年度から本格的にスタートしました。



# 1998年度 訪問

平成10年度

平成10年度北方四島交流訪問事業（計6回・286名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/18～5/20	波多 雄志 (根室市議会副議長)	43名	
第2回	色丹島	5/22～5/26	船山 幸利 (北斗小学校校長)	45名	
第3回（ファミリー）	国後島	8/1～8/4	木嶋 正毅 (北方四島青少年受入家庭の会)	48名	
第4回（青少年）	択捉島	8/6～8/10	白崎 大 (根室市教育長)	51名	全国会議と共催
第5回	択捉島	9/12～9/16	萬屋 努 (千島連盟中標津支部長)	48名	
第6回	色丹島	9/18～9/21	山崎 雷司 (千島連盟浜中支部長)	51名	



「行政府」前広場での祝祭（第3回・国後島）



「記念」交流会（第3回・国後島）



親子おんぶ競争（第3回・国後島）



対話集会（第5回・択捉島）



ホームステイ（第6回・色丹島）

# 1998年度 受入

平成10年度

## 平成10年度北方四島交流受入事業（計5回・297名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	北見市・根室市・羅臼町	6/18～6/23	オーシキナ, ナターリヤ・フォードロブナ（択捉島）	82名	
第2回（青少年）	根室管内1市4町	7/4～7/7	ボジェンコ, ウラジミル・イワノビッチ（色丹島）	60名	北方同盟と共催
第3回（ファミリー）	釧路市・中標津町	7/22～7/27	バルカーシン, イーゴリ・ワシリエビッチ（国後島）	80名	
第4回（農業・教育専門家）	根室市・中標津町・札幌市	9/25～10/6	ノビコフ, ニコライ・ミハイロビッチ（農：国後島）	6名	
			ルブリョワ, リュドミーラ・ミハイロブナ（教：国後島）		
第5回	帯広市・別海町・標津町	10/7～10/12	アブラメンコ, リュドミーラ・エフレモブナ（択捉島）	69名	



対話集会（第1回・羅臼町）



学校訪問（第2回・根室市）



太巻きづくり（第3回・釧路市）



餅つき体験（第5回・標津町）

- 平成10年度から、受入事業でも、親子等を対象にファミリー事業をはじめました。
- 平成10年度の第3回の国後島訪問の際に、相互訪問の人数が5,000人を突破したことから、記念の意味合いも込めて交流プログラムを行いました。



# 1999年度 訪問

平成11年度

平成11年度北方四島交流訪問事業（計6回・363名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	択捉島	5/21～5/24	高岩 光男 (元島民)	64名	
第2回	国後島	5/26～5/28	藤原 弘 (根室市長)	62名	
第3回	色丹島	7/2～7/5	中川 孝 (根室市議会議員)	59名	
第4回	国後島	7/19～7/21	田家 政一 (根室市議会議長)	60名	
第5回（ファミリー）	択捉島	8/2～8/6	白崎 賢哉 (元島民2世)	54名	
第6回（青少年）	色丹島	8/10～8/13	渡邊 好之 (根室市教育長)	64名	全国会議と共催



対話集会（第1回・択捉島）



よさこい演舞（第1回・択捉島）



野外で昼食（第3回・色丹島）



幼稚園訪問（第4回・国後島）



ホームステイ（第5回・択捉島）



## 1999年度 受入

平成11年度

平成11年度北方四島交流受入事業（計6回・295名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	釧路市・別海町・羅臼町	6/16～6/21	バルカーシン、イーゴリ・ワシリエビッチ（国後島）	79名	
第2回（青少年）	根室管内1市4町	7/8～7/11	スタロポイトワ、ナジェージダ・パプロブナ（国後島）	60名	北方同盟と共催
第3回（ファミリー）	紋別市・中標津町・標津町	9/15～9/20	カルプマン、イーゴリ・イオシフォビッチ（択捉島）	79名	
第4回（教育専門家）	根室市・中標津町・札幌市	9/28～10/7	インディク、ウラジミール・ワシリエビッチ（国後島）	5名	
第5回	留萌市・根室市	10/8～10/13	アブラメンコ、リュドミーラ・エフレモブナ（択捉島）	68名	
第6回	札幌市・東京都・根室市	1/24～1/28		4名	代表者間協議 全国会議と共催



別海ピン踊り（第1回・別海町）



よさこい演舞（第2回・根室市）



ロシア舞踊披露（第3回・紋別市）



対話集会（第5回・根室市）

- 平成11年度には、使用船舶の適正化（大型化）により、訪問団人数（一団当たり上限数）が48名から65名（現行と同じ）に増員されました。
- また、訪問事業において、交流の充実を図るため、日常生活に密着した生活・文化等の専門家（スポーツ・文化・芸能等）も同行し交流内容の幅を広げました。

# 2000年度 訪問

平成12年度

平成12年度北方四島交流訪問事業（計6回・358名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	色丹島	5/16～5/19	藤原 弘 (根室市長)	58名	
第2回	択捉島	5/22～5/25	小泉 恭平 (元島民)	61名	
第3回	国後島	7/3～7/5	佐藤 美津子 (釧路市女性団体協議会副会長)	64名	
第4回（ファミリー）	色丹島	8/1～8/4	倉賀野 弘行 (元島民2世)	52名	
第5回（青少年）	国後島	8/8～8/11	朴谷 邦正 (道教委根室教育局長)	62名	全国会議と共催
第6回	択捉島	9/1～9/4	岩野 洋一 (北方同盟十勝地方支部長)	61名	



ホームステイ（第1回・色丹島）



対話集会（第3回・国後島（友好の家））



網引き（第4回・色丹島）



学校訪問（第5回・国後島）



水遊び（第5回・国後島（ニキシロ湖畔））



## 2000年度 受入

平成12年度

平成12年度北方四島交流受入事業（計5回・312名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回	釧路市・別海町・羅臼町	6/14～6/19	ポリソフ, ゲンナージー・エフィーモビッチ（国後島）	85名	
第2回（青少年）	根室管内1市4町	7/13～7/16	セレダ, タマーラ・ドミトリエブナ（択捉島）	70名	北方同盟と共催
第3回（教育専門家）	根室市・中標津町・札幌市	9/4～9/14	ルダコワ, リンマ・ピタリエブナ（択捉島）	10名	
第4回（ファミリー）	帯広市・中標津町・標津町	9/13～9/19	カーツ, タチャーナ・ワシリエブナ（国後島）	80名	
第5回	札幌市・根室市	10/12～10/17	バルカーシン, イーゴリ・ワシリエビッチ（国後島）	67名	



ホームビジット（第1回・釧路市）



柔道体験（第2回・根室市）



大学生と会話（第5回・札幌市）



対話集会（第5回・札幌市）



## 2001年度 訪問

平成13年度

平成13年度北方四島交流訪問事業（計6回・378名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/21～5/23	下村 陽一 (中標津町助役)	64名	
第2回	色丹島	5/26～5/29	能田 文男 (道根室支庁長)	62名	
第3回	択捉島	6/26～6/29	荒瀬 好次郎 (元島民)	59名	
第4回（ファミリー）	国後島	8/4～8/7	萬屋 努 (千島連盟副理事長)	64名	
第5回（青少年）	択捉島	8/10～8/14	青木 良夫 (道教委根室教育局長)	64名	全国会議と共催
第6回	色丹島	8/31～9/3	小林 正輔 (根室商工会議所会頭)	65名	



ロシア人住民との合唱（第1回・国後島）



墓地の合同草刈（第2回・色丹島）



柔道体験（第3回・択捉島）



対話集会（第4回・国後島）



ホームステイ（第6回・色丹島）

## 2001年度 受入

平成13年度

平成13年度北方四島交流受入事業（計7回・318名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室市	5/17～7/3	ビジネスキー、ニコライ・ワシリエビッチ（択捉島）	10名	
第2回	網走市・別海町・羅臼町	6/13～6/18	コズロフ、ボリス・ペトロービッチ（国後島）	81名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/12～7/15	ザグルトナヤ、ナタリヤ・エフゲニエブナ（国後島）	68名	
第4回（ファミリー）	旭川市・中標津町・標津町	9/11～9/17	マガドフ、アスラン・ラマザノビッチ（択捉島）	80名	
第5回（教育専門家）	根室管内・札幌市	9/18～10/1	テリョーヒナ、リュドミラ・ミハイロブナ（国後島）	5名	
第6回	苫小牧市・根室市	10/5～10/9	スコワチーツィナ、ワレンチーナ・ミハイロブナ（国後島）	68名	
第7回	札幌市・東京都・根室市	1/23～1/27	オフチニコフ、ニコライ・セルゲエビッチ（国後島）	6名	代表者間協議 全国会議と共催



日本語研修（第1回・札幌市）



対話集会（第2回・網走市）



空手体験（第3回・別海町）



茶話会（第5回・根室市（二・ホ・ロ））

- 平成13年度から、日本語研修を通じ日本への理解等が更に深まるよう、日本語習得事業（少人数を約1か月程度受入れ）をはじめました。



## 2002年度 訪問

平成14年度

平成14年度北方四島交流訪問事業（計6回・362名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	国後島	5/25～5/27	藤田 清司 (北方同盟後志地方支部長)	61名	尾身北方大臣訪問
第2回（ファミリー）	国後島	6/3～6/6	大沼 好夫 (別海中央小学校教頭)	50名	
第3回	択捉島	6/30～7/3	藤原 弘 (北方同盟根室地方支部長)	62名	根室市長
第4回	択捉島	7/26～7/29	白崎 大 (北方四島交流センター館長)	62名	
第5回（青少年）	色丹島	8/16～8/19	城地 民義 (標津町教育長)	65名	全国会議と共催
第6回	色丹島	9/2～9/5	高橋 昭一 (千島連盟道央支部長)	62名	



「行政府」との面談（第1回・国後島（友好の家））



歴史学習会（第1回・国後島）



和太鼓実習（第2回・国後島（友好の家））



ホームステイ（第4回・択捉島）



サッカー（第5回・色丹島）



## 2002年度 受入

平成14年度

平成14年度北方四島交流受入事業（計4回・162名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	根室市・札幌市・厚岸町	5/23～7/8	ダネリヤ、ナタリヤ・ミハイロブナ（色丹島）	10名	
第2回（ファミリー）	別海町・中標津町・標津町・羅臼町	6/14～6/19	アブラメンコ、リュドミーラ・エフレモブナ（択捉島）	80名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/11～7/14	シュテンコ、ガリーナ・グリゴリエブナ（国後島）	67名	
第4回（教育専門家）	札幌市・中標津町・根室市	8/19～9/2	パブリュケビッチ、タチヤナ・ビクトロブナ（国後島）	5名	
第5回	石狩管内	（四島側の事情により中止）			
第6回	釧路管内	（四島側の事情により中止）			



書道体験（第1回・根室市（ニ・ホ・ロ））



ホームビジット（第2回・別海町）



歴史学習会（第2回・羅臼町）



学校訪問（第4回・札幌市）

- 平成14年度から、これまでの取組を踏まえ、歴史学習会（北方領土の歴史等をテーマに双方から講話を行いその後に意見交換）の開催や、訪問団を元島民等を中心とするものや返還運動関係者を中心とするもの等に編成し交流する取組も行いました。

## 2003年度 訪問

平成15年度

平成15年度北方四島交流訪問事業（計5回・313名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考	
第1回	択捉島	5/30～6/2	藤原 弘 (根室市長)	63名		
第2回	色丹島	6/29～7/2	八木 禧幸 (北方同盟網走支部事務局長)	64名		
第3回（青少年）	国後島	8/1～8/4	横内 建夫 (中標津町教育長)	62名	全国会議と共催	
第4回	色丹島	（悪天候により中止）				
第5回（ファミリー）	択捉島	8/15～8/19	倉賀野 弘行 (札幌中島中学校教諭)	60名		
第6回	国後島	8/31～9/2	小泉 敏夫 (千島連盟理事長)	64名	細田北方大臣 訪問	



日本民謡披露（第1回・択捉島）



吹奏楽披露と屋台紹介（第2回・色丹島）



ウォークラリー（第3回・国後島（友好の家））



相互理解促進セミナー（第5回・択捉島）



ロシア語学習（第6回・国後島（友好の家））



## 2003年度 受入

平成15年度

### 平成15年度北方四島交流受入事業（計6回・254名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回（少人数長期）	札幌市・根室管内	5/21～5/30	グダネツ、エレナ・ウラジミロブナ（択捉島）	15名	全国会議とジョイント（合同）
第2回（日本語習得）	札幌市・根室市	6/2～7/15	グボズデツカヤ、ジャンナ・アレクサンドロブナ（択捉島）	10名	
第3回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/13～6/18	スコワチーツィナ、ワレンチーナ・ミハイロブナ（国後島）	80名	
第4回（青少年）	根室管内1市4町	7/18～7/21	ダリンスカヤ、アリビナ・ニコラエブナ（国後島）	69名	
第5回（少人数長期）	札幌市・根室市	8/19～9/17	ダネリヤ、アンドレイ・ショートピッチ（色丹島）	10名	
第6回（ファミリー）	帯広市・根室市	9/13～9/17	カルプマン、イーゴリ・ヨシフォビッチ（択捉島）	70名	



弓道体験（第1回・札幌市）



日口絵本の読み聞かせ（第6回・帯広市）



学校訪問（第4回・根室市）



歴史学習会（第6回・帯広市）

- 平成15年度から、より深い交流を図るため、少人数を1週間程度受け入れる事業を行いました。



## 2004年度 訪問

平成16年度

平成16年度北方四島交流訪問事業（計5回・288名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回	色丹島	(悪天候により中止)			
第2回	国後島・択捉島	5/31~6/3	萬屋 努 (千島連盟副理事長)	63名	
第3回 (後継者)	国後島	7/23~7/26	大島 義孝 (JC北海道地区協議会委員長)	40名	北対協とジョイント (合同)
第4回 (青少年)	択捉島	8/5~8/9	葛西 祐 (別海町教育長)	64名	北対協と共催
第5回 (ファミリー)	色丹島	8/13~8/16	須崎 源蔵 (千島連盟中標津支部長)	57名	
第6回	国後島	9/22~9/24	岡田 省一 (元島民)	64名	



水産加工場視察 (第2回・国後島)



日本舞踊披露 (第2回・択捉島)



流しそうめん (第3回・国後島)



歴史学習会 (第3回・国後島)



卓球 (第4回・択捉島)

## 2004年度 受入

平成16年度

平成16年度北方四島交流受入事業（計6回・241名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室市	5/14～6/15	ルイジョフ、イーゴリ・ビクトロビッチ（国後島）	10名	
第2回（日本語習得）	札幌市・根室市	6/14～7/18	コルィチェワ、エレーナ・イワノブナ（択捉島）	9名	
第3回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/18～6/23	ズイコフ、イリヤ・イワノビッチ（国後島）	80名	
第4回（青少年）	根室管内1市4町	7/15～7/18	ボジェンコ、ウラジミール・イワノビッチ（色丹島）	70名	
第5回（長期少人数）	根室市・旭川市	8/30～9/10	グリゴリエワ、タチヤナ・アレクセエブナ（国後島）	4名	
第6回（ファミリー）	名寄市・根室市	9/27～10/1	チカレンコ、ラリサ・ビクトロブナ（択捉島）	68名	



餅つき体験（第3回・標津町）



相互理解促進セミナー（第3回・中標津町）



デイサービスセンター訪問（第5回・旭川市）



パークゴルフ体験（第6回・名寄市）

- 平成16年度から、元島民2・3世及び返還運動関係者の大学生・青年層等により訪問団を編成する後継者訪問事業をはじめました。（北対協とジョイント（合同）により実施。）



## 2005年度 訪問

平成17年度

平成17年度北方四島交流訪問事業（計6回・351名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	色丹島	5/13～5/16	野口 繁正 (元島民)	65名	
第2回（一般）	国後島・択捉島	5/30～6/2	小泉 敏夫 (千島連盟理事長)	63名	高橋道知事 訪問
第3回（教育関係者・青少年）	色丹島	7/29～8/1	岡田 一憲 (道教委根室教育局長)	63名	
第4回（ファミリー）	択捉島	8/12～8/15	對馬 紀彦 (標津町川北中学校教頭)	59名	
第5回（後継者）	色丹島	9/9～9/12	小澤 輝真 (JC北海道地区協議会委員長)	39名	北対協とジョイ ント（合同）
第6回	国後島	9/23～9/26	武田 勝三 (千島連盟理事)	62名	



ジャズ演奏（第1回・色丹島）



学校訪問（第2回・択捉島）



ロシア舞踊披露（第2回・国後島）



ホームビジット（第3回・色丹島）



対話集会（第3回・色丹島）

## 2005年度 受入

平成17年度

平成17年度北方四島交流受入事業（計6回・206名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	5/16～6/21	ダネリヤ、ナタリヤ・ミハイロブナ（色丹島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/17～6/21	フョードロワ、オリガ・ワシリエブナ（択捉島）	76名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/15～7/22	デメンチェワ、スペトラーナ・ニコラエブナ（国後島）	50名	
第4回（長期少人数）	札幌市・釧路市・浜中町・根室市	8/1～8/12	コリチェワ、エレーナ・イワノブナ（択捉島）	10名	
第5回（日本語習得）	札幌市・根室市	8/30～10/2	クリンスキー、ゲオルギー・ニコラエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第6回（ファミリー）	釧路市・根室市	9/29～10/2	セレブリャナヤ、ワレンチーナ・ミハイロブナ（色丹島）	50名	



生け花体験（第2回・根室市（ニ・ホ・ロ））



夕暮れのキャンプ場（第3回・根室市）



対話集会（第4回・根室市（ニ・ホ・ロ））



ホームビジット（第5回・札幌市）

- 平成17年度から、先生と生徒と一緒に体験談を伝える活動等、より効果的な啓発活動等に資するため、青少年訪問事業と教育関係者訪問事業とを一つの事業に統合して行うようにしました。（従前、青少年訪問は道推進委が、教育関係者訪問は北対協が実施。）
- 訪問事業では、元島民の語り部による講話やロシア語学科学生の補助通訳参加（関心の高い若年層の啓発も兼ねる）、また、受入事業では、青少年受入事業をキャンプ方式で実施し日本人に接する機会の増加を図るといった取組も行いました。



## 2006年度 訪問

平成18年度

平成18年度北方四島交流訪問事業（計5回・282名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	色丹島	5/19～5/22	白崎 大 (元島民)	63名	
第2回（一般）	国後島	6/2～6/5	力示 義男 (千歳商工会議所副会頭)	62名	
第3回（教育関係者・青少年）	択捉島	7/28～7/31	太田 眞 (道教委教育指導監)	65名	
第4回（一般）	択捉島	8/18～8/21	西澤 雄一 (中標津町長)	54名	
第5回（後継者）	国後島	9/15～9/18	野潟 龍彦 (千島連盟根室青連協会会長)	38名	北対協とジョイント（合同）



ロシア民謡披露（第1回・色丹島）



対話集会（第2回・国後島）



綱引き（第3回・択捉島）



ホームステイ（第4回・択捉島）



対話集会（第5回・国後島（友好の家））  
※KJ法による双方の意見等の取りまとめ

## 2006年度 受入

平成18年度

平成18年度北方四島交流受入事業（計6回・204名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/5～7/6	ゴルバチェフスカヤ, インネッサ・セルゲエブナ（択捉島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/16～6/20	オーシキナ, ナタリヤ・フォードロブナ（択捉島）	69名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/15～7/22	ウリヤノワ, オリガ・ワシリエブナ（国後島）	35名	
第4回（長期少人数）	根室管内1市4町・札幌市・室蘭市・苫小牧市・登別市・石狩市・斜里町	8/7～8/18	レテンコ, ニーナ・イワノブナ（択捉島）	10名	
第5回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/29～10/2	クリンスキー, ゲオルギー・ニコラエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第6回（ファミリー）	小樽市・根室市	9/28～10/2	トロフィーモワ, タマラ・レオンチェブナ（択捉島）	70名	



歴史文化体験（開拓の村農家）（第2回・標津町）



ペリメニづくり（第3回・根室市（ニ・ホ・ロ）） ※ロシア風餃子



陶芸体験（第5回・札幌市）



対話集会（第6回・小樽市）

- 平成18年度から、後継者訪問事業において、根室管内の元島民2・3世による継続した取組が行われるようになりました。（例えば、日本人とロシア人住民との「共生」についての意見交換等を5年間継続して行う等。（左頁「対話集会」の写真を参照））



## 2007年度 訪問

平成19年度

平成19年度北方四島交流訪問事業（計5回・260名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島・択捉島	5/9～5/14	八木 禧幸 (北方同盟網走地方支部事務局長)	69名	
第2回（一般）	色丹島	5/25～5/28	白崎 大 (元島民)	62名	
第3回（教育関係者・青少年）	国後島	8/3～8/6	深澤 宗明 (道教委教育指導監)	64名	
第4回（一般）	択捉島	（悪天候により中止）			
第5回（後継者）	国後島	9/28～10/1	野潟 龍彦 (千島連盟根室青連協会会長)	15名	
第6回（後継者）	色丹島	9/28～10/1	大矢 温 (札幌大学教授)	50名	



ロシア人住民との合唱（第1回・択捉島）



対話集会（第1回・国後島）



綱引き（第3回・国後島）



ブニ温泉（第5回・国後島）



ルチェヨーク（第6回・色丹島）  
※2人ずつ手をつないで順にくぐるゲーム

## 2007年度 受入

平成19年度

平成19年度北方四島交流受入事業（計6回・199名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/15～6/19	シルプ, アナトーリー・グリゴリエビッチ（択捉島）	68名	
第2回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/15～7/14	クリンスキー, ゲオルギー・ニコラエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/7～7/14	マイゴラ, タチヤナ・ニコラエブナ（国後島）	34名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/6～9/7	リャシェンコ, アナトーリー・ヴィタリエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第5回（長期少人数）	根室管内1市4町・札幌市・室蘭市・苫小牧市・洞爺湖町・斜里町	9/11～9/21	コーワリ, イーゴリ・ミハイロビッチ（国後島）	9名	
第6回（一般）	網走市・根室市・標津町・羅臼町・斜里町	10/6～10/11	スコワチーツィナ, フレンチナ・ミハイロブナ（国後島）	68名	



五目並べ（第1回・別海町）



共同制作の旗（第3回・根室市（ニ・ホ・ロ））



琴体験（第3回・中標津町）



対話集会（第6回・網走市）

- 平成19年度から、「ビザなし交流」支援のボランティア組織が活動をはじめました。この組織は、平成18年度に発足し（事務局：根室市内）、入出港時の歓送迎、受入事業での交流の企画実施等の活動を行っています。（67頁の最下段の写真を参照）



## 2008年度 訪問

平成20年度

平成20年度北方四島交流訪問事業（計5回・256名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/16～5/19	宮谷内 亮一 (元島民)	64名	
第2回（一般）	択捉島	5/30～6/2	武田 勝三 (元島民)	65名	
第3回（教育関係者・青少年）	色丹島	8/8～8/11	増田 幸政 (道教委根室教育局長)	64名	
第4回（後継者）	国後島	9/12～9/15	館下 雅志 (千島連盟中標津支部理事)	19名	
第5回（後継者）	択捉島	9/12～9/15	大矢 温 (札幌大学教授)	44名	



ホームステイ（第2回・択捉島）



対話集会（第3回・色丹島）



ロシア式茶会（第4回・国後島）



ロシア民謡披露（第5回・択捉島）



地熱発電所（第5回・択捉島）

## 2008年度 受入

平成20年度

平成20年度北方四島交流受入事業（計6回・192名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/20～6/24	グラゴレワ, アレクサンドラ・ワシリエブナ（択捉島）	70名	
第2回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/20～7/22	ボブロフスカヤ, ヤーナ・ニコラエブナ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/17～7/22	ペルシナ, イリーナ・ウラジミロブナ（国後島）	32名	
第4回（長期少人数）	根室管内1市4町・札幌市・旭川市	8/11～8/21	コロリョーワ, ニーナ・アレクセエブナ（国後島）	10名	
第5回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/25～10/2	クリンスキー, ゲオルギー・ニコラエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第6回（ファミリー）	帯広市・根室市	10/3～10/6	パクロワ, エレーナ・アナトリエブナ（択捉島）	60名	



アイスクリームづくり（第1回・中標津町）



香道体験（第5回・札幌市）



日本舞踊体験（第6回・帯広市）



対話集会（第6回・帯広市）

- インターネット環境の整備に伴い、この頃から四島側との連絡・調整に電子メールを使用するようになりました。四島交流によって四島側の知人も増え、双方の市民の間でも直接電子メールの交換等が行われるようになりました。



## 2009年度 訪問

平成21年度

平成21年度北方四島交流訪問事業（計5回・251名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島・色丹島	（ロシア側の事情により中止）			
第2回（一般）	択捉島	5/22～5/26	小林 常次 (泊村議会議員)	61名	
第3回（教育関係者・青少年）	国後島	8/7～8/10	村田 政孝 (道教委教育指導監)	65名	
第4回（一般）	択捉島	8/22～8/24	野口 繁正 (千島連盟羅臼支部長)	64名	
第5回（後継者）	国後島	9/11～9/14	館下 雅志 (千島連盟中標津支部理事)	42名	
第6回（後継者）	色丹島	9/11～9/14	浅野 一弘 (札幌大学教授)	19名	



パラライカ演奏（第2回・択捉島）



端切れ人形づくり（第3回・国後島（友好の家））



犬ぞり体験（第3回・国後島）



ホームビジット（第4回・択捉島）



対話集会（第6回・色丹島）

## 2009年度 受入

平成21年度

### 平成21年度北方四島交流受入事業（計5回・178名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/10～7/14	アンドロニク,リュポーフ・セミョーノブナ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/19～6/23	リズニチ,オクサーナ・イワノブナ（国後島）	68名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/15～7/20	ルダコフ,セルゲイ・コンスタンチノビッチ（択捉島）	35名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/10～9/11	コルィチェワ,エレナ・イワノブナ（択捉島）	10名	日本語習得Ⅱ
第5回（一般）	北見市・根室市・標津町	10/2～10/7	シュミヒン,オレグ・ウラジミロビッチ（択捉島）	55名	



生け花体験（第2回・根室市（ニ・ホ・ロ））



剣道体験（第3回・根室市）



和太鼓体験（第5回・北見市）



対話集会（第5回・北見市）



## 2010年度 訪問

平成22年度

平成22年度北方四島交流訪問事業（計6回・312名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/14～5/17	藤原 弘 (前根室市長)	61名	
第2回（一般）	色丹島	5/28～5/31	竹内 正利 (根室市議会副議長)	60名	
第3回（教育関係者・青少年）	国後島	8/6～8/9	岸 豊 (道教委生涯学習推進局長)	65名	
第4回（一般）	色丹島	8/21～8/23	河田 弘登志 (千島連盟根室支部長)	63名	
第5回（後継者）	国後島	9/10～9/13	館下 雅志 (千島連盟根室青連協会長)	20名	
第6回（後継者）	択捉島	9/10～9/13	神田 房行 (北海道教育大学釧路校教授)	43名	



絵手紙づくり（第1回・国後島）



意見交換会（第1回・国後島）



障害物競争（第3回・国後島）



日本語での歌唱（第5回・国後島（友好の家））  
※「四季の歌」を歌詞を見ずに披露



ロシア民謡披露（第6回・択捉島）

## 2010年度 受入

平成22年度

### 平成22年度北方四島交流受入事業（計5回・181名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/9～7/15	ダネリヤ, ナタリヤ・ミハイロブナ（色丹島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/18～6/22	ドゥプロフスキー, ウラジーミル・アンドレエビッチ（国後島）	68名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/16～7/21	レテンコ, ニーナ・イワノブナ（択捉島）	35名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/9～9/10	ポノマレンコ, アレクサンドル・セルゲエビッチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第5回（一般）	滝川市・根室市	10/6～10/10	ジュラブリョワ, ナタリヤ・ニコラエブナ（択捉島）	58名	



合気道体験（第1回・札幌市）



千人踊り参加（第3回・根室市）



学校訪問（第5回・滝川市）



意見交換会（第5回・滝川市）

- 平成22年度から、これまでの取組を踏まえ、より多くのロシア人住民の参加を図るため、住民交流会として、訪問事業では、スポーツ、文化等の専門家（団体）による交流アトラクションの後に、生活・文化など身近なことをテーマとし意見交換会（今までの対話集会に替わるもの）を行うようにしました。



## 2011年度 訪問

平成23年度

平成23年度北方四島交流訪問事業（計5回・207名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/14～5/16	長尾 明宏 (道推進委員会会長)	46名	
第2回（一般）	色丹島	5/27～5/30	得能 宏 (千島連盟元理事)	48名	
第3回（教育関係者・青少年）	択捉島	8/5～8/8	千葉 俊文 (道教委根室教育局長)	52名	
第4回（後継者）	国後島	9/12～9/15	浅野 一弘 (札幌大学教授)	41名	
第5回（後継者）	択捉島	9/12～9/15	高嶋 幸男 (北海道教育大学釧路校教授)	20名	



サッカー（第3回・択捉島）



幼稚園訪問（第4回・国後島）



意見交換会（第4回・国後島）



ホームビジット（第5回・択捉島）



日本語とロシア語での伝言ゲーム（第5回・択捉島）

## 2011年度 受入

平成23年度

平成23年度北方四島交流受入事業（計5回・176名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/8～7/14	モストフシコワ, ガリーナ・ビクトロブナ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/17～6/21	ルダコワ, リンマ・ビタリエブナ（択捉島）	65名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/15～7/20	ベレジューク, エレーナ・フェリクソブナ（国後島）	34名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/8～9/12	テプロワ, イリーナ・ペトロブナ（国後島）	9名	日本語習得Ⅱ
第5回（一般）	釧路市・根室市	10/7～10/11	オシキナ, ナターリヤ・フョードロブナ（択捉島）	58名	



そば打ち体験（第2回・標津町）



パークゴルフ体験（第2回・別海町）



サッカー（第3回・根室市）



意見交換会（第5回・釧路市）



## 2012年度 訪問

平成24年度

平成24年度北方四島交流訪問事業（計5回・251名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島・色丹島	（悪天候により中止）			
第2回（一般）	択捉島	5/25～5/28	長尾 明宏 (道推進委員会会長)	64名	
第3回（教育関係者・青少年）	色丹島	8/3～8/6	阿部 豊 (道教委生涯学習推進局長)	62名	高橋道知事訪問
第4回（一般）	国後島	8/17～8/20	宮谷内 亮一 (千島連盟根室支部長)	61名	
第5回（後継者）	国後島	9/7～9/10	三須 拓也 (札幌大学准教授)	44名	
第6回（後継者）	択捉島	9/7～9/10	法月 信幸 (千島連盟根室支部青年部長)	20名	



ホームビジット（第2回・択捉島）



意見交換会（第3回・色丹島）



ルチェヨーク（第3回・色丹島）  
※2人ずつ手をつないで順にくぐるゲーム



意見交換会（第5回・国後島）



釣りゲーム（第6回・択捉島）

## 2012年度 受入

平成24年度

平成24年度北方四島交流受入事業（計5回・184名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/6～7/12	リズニッチ, オクサーナ・イワノブナ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/15～6/19	イワノワ, オクサーナ・ウラジミロブナ（国後島）	70名	
第3回（青少年）	根室管内1市4町	7/13～7/18	デギリ, オレーシャ・オレゴブナ（択捉島）	35名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/6～9/7	ノボトニャヤ, エレーナ・ウラジミロブナ（国後島）	10名	日本語習得Ⅱ
第5回（一般）	苫小牧市・根室市	10/3～10/7	キセリョフ, セルゲイ・ワシリエビッチ（国後島）	59名	



ホームビジット（第2回・羅臼町）



茶道体験（第4回・札幌市）



寿司握り体験（第4回・小樽市〔受入地近郊〕）



意見交換会（第5回・苫小牧市）

- 平成24年度から、新船「えとぴりか」が供用（運航）をはじめました。

※この船は、四島周辺の海域に対応する喫水の浅い中型の旅客船として建造され、事業に必要な定員、宿泊施設及び集会スペース等を有し、事業参加者である元島民の高齢化等の状況を踏まえ、安全性等に配慮した仕様となっています。（78頁を参照）



## 2013年度 訪問

平成25年度

平成25年度北方四島交流訪問事業（計3回・191名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/17～5/20	長尾 明宏 (道推進委員会会長)	62名	
第2回（一般）	色丹島	5/31～6/3	得能 宏 (元島民)	64名	
第3回（後継者）	国後島	（悪天候により中止）			
第4回（後継者）	択捉島	（悪天候により中止）			
第5回（教育関係者・青少年）	国後島	9/13～9/16	荒木 雄二 (道教委根室教育局長)	65名	



日本民謡披露（第1回・国後島）



意見交換会（第1回・国後島）



飴細工（第2回・色丹島）



海岸清掃（第2回・色丹島）



市街地散策（第5回・国後島）

## 2013年度 受入

平成25年度

平成25年度北方四島交流受入事業（計5回・181名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/14～6/18	カリニコヴァ,オリガ・フェリクソヴナ（択捉島）	69名	
第2回（日本語習得）	札幌市・根室管内	6/21～7/24	ダニレンコ,アレクサンドル・オレゴヴィチ（国後島）	10名	日本語習得Ⅰ
第3回（青少年）	札幌市・根室市	7/19～7/24	マイゴラ,タチヤーナ・ニコラエヴナ（国後島）	33名	
第4回（日本語習得）	札幌市・根室管内	8/26～9/19	バレエフスキフ,アンドレイ・アナトリエヴィチ（択捉島）	10名	日本語習得Ⅱ
第5回（一般）	網走市・根室管内	10/3～10/7	オシキナ,ナターリヤ・フォードロヴナ（択捉島）	59名	



フロアカーリング（第1回・別海町）



意見交換会（第1回・標津町）



高校訪問（第3回・札幌市）



演奏会（第5回・根室市（ニホ口））



## 2014年度 訪問

平成26年度

平成26年度北方四島交流訪問事業（計5回・252名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/24～5/26	壺田 重夫 (根室市議会議員)	65名	
第2回（一般）	色丹島	6/6～6/9	長尾 明宏 (道推進委員会会長)	63名	
第3回（後継者）	国後島	8/29～9/1	佐藤 健夫 (千島連盟中標津支部長)	44名	
第4回（後継者）	択捉島	8/29～9/1	白崎 賢哉 (元島民2世)	20名	
第5回（教育関係者・青少年）	択捉島	9/12～9/15	村田 智己 (道教委根室教育局長)	60名	北対協との共催



スラブの文字と文化の日（第1回・国後島）



意見交換会（第1回・国後島）



ダンス講習（第3回・国後島）



書道体験（第4回・択捉島）



共同制作活動（第5回・択捉島）

## 2014年度 受入

平成26年度

平成26年度北方四島交流受入事業（計4回・171名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（青少年）	札幌市・根室市	6/12～6/17	パクロヴァ, エレーナ・アナトリエヴナ（択捉島）	33名	
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	7/10～7/14	ダリンスカヤ, アリヴィナ・ニコラエヴナ（国後島）	65名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	7/17～8/22	サイコ, アレクサンドル・ヴィクトロヴィチ（国後島）	14名	
第4回（一般）	根室市	9/25～9/29	ラネンコ, アレクセイ・アレクサンドロヴィチ（国後島）	59名	



スマホで情報交換（第1回・札幌市）



スポーツアミューズメント施設での交流（第1回・札幌市）



アイスクリームづくり（第2回・中標津町）



意見交換会（第4回・根室市（ニ・ホ・ロ））

- 平成26年度から、より効果的に返還運動の次代を担う人材の育成を図る観点から、青少年や後継者が主体となる訪問事業について、北対協との共催により、北海道内と青森県以南の参加者が一緒に訪問する取組をはじめました。



## 2015年度 訪問

平成27年度

平成27年度北方四島交流訪問事業（計4回・184名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	（ロシア側の事情により中止）			
第2回（一般）	色丹島	8/7～8/10	坂上 範夫 (千島連盟函館支部長)	61名	
第3回（後継者）	国後島	8/21～8/24	本田 幹子 (元島民2世)	45名	北対協との共催
第4回（後継者）	択捉島	8/21～8/24	白崎 賢哉 (元島民2世)	20名	北対協との共催
第5回（教育関係者・青少年）	択捉島	9/25～9/28	小山 茂樹 (道教委根室教育局長)	58名	北対協との共催



合気道体験（第2回・色丹島）



意見交換会（第3回・国後島）



縁日体験（第4回・択捉島）



ブリヌィづくり（第5回・択捉島）※ロシア風クレープ



ホームビジット（第5回・択捉島）

## 2015年度 受入

平成27年度

平成27年度北方四島交流受入事業（計4回・199名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（青少年）	札幌市・根室市	6/12～6/16	ダネリヤ, アンドレイ・ショートヴィチ（色丹島）	50名	
第2回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/19～6/23	オシキナ, ナタリヤ・フォードロヴナ（択捉島）	70名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	8/10～9/16	サイコ, アレクサンドル・ヴィクトロヴィチ（国後島）	19名	
第4回（一般）	旭川市・根室市	9/17～9/21	コルィチュェヴァ, エレーナ・イヴァノヴナ（択捉島）	60名	



意見交換会（第1回・札幌市）



言葉を交わす少年たち（第2回・標津町）



ファームステイ（第4回・旭川市）



「食」についての懇談会（第4回・旭川市）

- スマホの普及等に伴い、この頃から、日本人とロシア人住民の間、特に若年層を中心にスマホを使って気軽に情報を交換する姿が見られるようになりました。（スマホに保存した画像をみせることだけでも情報交換には有益です。（左頁下段・55頁上段左の写真を参照））  
また、訪問事業参加後にSNSを活用した情報発信も行われるようになりました。



## 2016年度 訪問

平成28年度

平成28年度北方四島交流訪問事業（計2回・127名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	色丹島	5/20～5/23	大塚 小彌太 (元島民)	64名	
第2回（一般）	択捉島	5/27～5/30	長谷川 敬二 (根室市町会連合会会長)	63名	
第3回（後継者）	国後島	（悪天候により中止）			
第4回（後継者）	択捉島	（悪天候により中止）			
第5回（教育関係者・青少年）	色丹島	（悪天候により中止）			



ジャズ演奏（第1回・色丹島）



意見交換会（第1回・色丹島）



フルーツ演奏（第2回・択捉島）



パントマイム実演（第2回・択捉島）



ホームビジット（第2回・択捉島）

## 2016年度 受入

平成28年度

### 平成28年度北方四島交流受入事業（計4回・199名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/17～6/21	ニコラエヴァ, ラリーサ・ヴァシーリエヴナ（国後島）	69名	
第2回（青少年）	札幌市・根室市	7/14～7/18	ゴリチャエフ, アレクサンドル・ヴラジーミロヴィチ（択捉島）	52名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	7/19～8/19	ポドリヤン, タチヤーナ・ヴィクトロヴナ（択捉島）	19名	
第4回（一般）	釧路市・根室市	9/30～10/4	ネメシナ, ラリーサ・ユーリエヴナ（国後島）	59名	



絵手紙づくり（第1回・別海町）



「四島交流会話集」で会話（第2回・札幌市）



意見交換会（第2回・札幌市）



アイヌ文化体験（第4回・釧路市）



## 2017年度 訪問

平成29年度

平成29年度北方四島交流訪問事業（計5回・255名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/19～5/22	喜多 廣 (道推進委員会会長)	65名	
第2回（一般）	択捉島	6/8～6/11	北村 信人 (根室商工会議所顧問)	61名	
第3回（後継者）	国後島	8/25～8/28	松田 芳紀 (元島民2世)	45名	北対協との共催
第4回（後継者）	択捉島	8/25～8/28	城戸 千尋 (元島民2世)	20名	北対協との共催
第5回（教育関係者・青少年）	色丹島	9/8～9/11	簗島 崇 (道教委根室教育局長)	64名	北対協との共催



三味線でロシア民謡披露（第1回・国後島）



意見交換会（第2回・択捉島）



ドッジボール（第3回・国後島）



ホームビジット（第4回・択捉島）



学校訪問（第5回・色丹島）

## 2017年度 受入

平成29年度

平成29年度北方四島交流受入事業（計4回・209名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/16～6/20	パク,ゲルマン・ニコラエヴィチ（択捉島）	70名	
第2回（青少年）	札幌市・根室市	7/6～7/10	ベレジューク,エレナ・フェリクソヴナ（国後島）	63名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	7/11～8/14	サイコ,アレクサンドル・ヴィクトロヴィチ（国後島）	17名	
第4回（一般）	北見市・根室市	9/22～9/26	コルィチェヴァ,エレナ・イヴァノヴナ（択捉島）	59名	



意見交換会（第1回・中標津町）



フットサル（第2回・札幌市）



ミニバスケットボール（第4回・北見市）



玉ねぎ選別所視察（第4回・北見市）



## 2018年度 訪問

平成30年度

平成30年度北方四島交流訪問事業（計3回・194名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	択捉島	6 / 1～6 / 4	野口 繁正 (元島民)	65名	
第2回（一般）	色丹島	7 / 20～7 / 23	福澤 英雄 (元島民)	65名	
第3回（後継者）	国後島	（悪天候により中止）			
第4回（後継者）	択捉島	（悪天候により中止）			
第5回（教育関係者・青少年）	国後島	9 / 28～9 / 30	藤田 寿香 (道教委根室教育局長)	64名	北対協との共催



ブリヌィを振舞う女性グループ（第1回・択捉島）  
※ロシア風クレープ



ホームビジット（第1回・択捉島）



意見交換会（第2回・色丹島）



学校訪問・意見交換（第5回・国後島）



チアリーディング演舞（第5回・国後島）

## 2018年度 受入

平成30年度

### 平成30年度北方四島交流受入事業（計4回・201名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓・名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/16～6/19	ソコフ、ドミートリー・ヴラジーミロヴィチ（国後島）	67名	
第2回（青少年）	札幌市・根室市	6/28～7/2	グルゾヴィコヴァ、エレナ・アレクサンドロヴナ（択捉島）	60名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	7/3～8/3	ダニリチュク、ガリーナ・ポリソヴナ（択捉島）	16名	
第4回（一般）	網走市・根室市	9/21～9/25	ダリンスカヤ、アリヴィナ・ニコラエヴナ（国後島）	58名	



サッカー（第2回・札幌市）



アフレコ（音声収録）体験（第3回・札幌市）



ロシア人団員との合唱（第3回・根室市）



意見交換会（第4回・網走市）



## 2019年度 訪問

令和元年度

令和元年度北方四島交流訪問事業（計5回・258名）

区分	訪問地	訪問期間	団長	人数	備考
第1回（一般）	国後島	5/10～5/13	大塚 小彌太 (元島民)	65名	
第2回（一般）	色丹島	5/24～5/27	中川 昭一 (豊平地区町内会連合会会長)	65名	
第3回（後継者）	国後島	8/23～8/26	松田 芳紀 (元島民2世)	44名	北対協との共催
第4回（後継者）	色丹島	8/23～8/26	舘下 雅志 (元島民2世)	20名	北対協との共催
第5回（教育関係者・青少年）	択捉島	9/13～9/16	藤田 寿香 (道教委根室教育局長)	64名	北対協との共催



和太鼓演舞（第1回・国後島）



放水体験（第2回・色丹島）



意見交換会（第3回・国後島）



夕食交流会（第4回・色丹島）



ロシア料理教室（第5回・択捉島）

## 2019年度 受入

令和元年度

### 令和元年度北方四島交流受入事業（計4回・191名）

区分	受入地	受入期間	団長（姓、名・父称）	人数	備考
第1回（ファミリー）	根室管内1市4町	6/14～6/18	クリヴァニチ、スヴェトラーナ・フョードロヴナ（択捉島）	68名	
第2回（青少年）	札幌市・石狩市・根室市	7/11～7/15	ドルゴポロヴァ、マリナー・イヴァノヴナ（国後島）	60名	
第3回（日本語習得）	札幌市・根室市	7/16～8/15	モストフシコヴァ、ガリーナ・ヴィクトロヴナ（国後島）	19名	
第4回（一般）	苫小牧市・根室市	9/26～9/30	ダリンスカヤ、アリヴィナ・ニコラエヴナ（国後島）	44名	



ソフトボール（第2回・石狩市）



日本語研修（第3回・札幌市）



意見交換会（第4回・苫小牧市）



ホームビジット（第4回・苫小牧市）

- 北方四島交流事業への各界各層の幅広い参加、特に若い世代の参加・交流を促すなど、より効果的な事業となるよう努めていたところですが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症をめぐり状況などにより全ての事業を実施できていません。



# 見送り

～さよなら。またお会いしましょう～

【訪問団員の離島】 <sup>なやか</sup>（内岡港(択捉島)、<sup>ふるかまづぶ</sup>古釜布港(国後島)、<sup>あなま</sup>穴澗港(色丹島) から出港)



平成11年度第5回訪問（択捉島）



平成12年度第1回訪問（色丹島）



平成16年度第4回訪問（択捉島）



平成22年度第3回訪問（国後島）



平成24年度第3回訪問（色丹島）



平成29年度第5回訪問（色丹島）



# 見送り ~さよなら。またお会いしましょう~

## 【受入団員の帰島】（根室港から出港〔初期の頃は花咲港〕）



平成10年度第2回受入（青少年）



平成23年度第3回受入（青少年）根室駅



平成24年度第3回受入（青少年）根室駅



平成27年度第4回受入（一般）



令和元年度第4回受入（一般）



平成27年度第4回受入（一般）



令和元年度第4回受入（一般）





# 交流を取りまく 環境の移り変わり

---



交流の環境～視察・見学先・交流利用施設 ①

〈新旧〉ロシア正教 教会堂 (国後島)



平成14年度第1回訪問



平成25年度第1回訪問

〈新旧〉メンデレーエヴォ空港 ターミナル (国後島)



平成19年度第1回訪問



平成24年度第4回訪問

## 交流の環境～視察・見学先・交流利用施設 ②

あなま  
穴澗文化会館（色丹島） [改装の状況]



平成4年度第3回訪問



平成10年度第2回訪問



平成19年度第2回訪問



平成24年度第3回訪問



### 交流の環境～視察・見学先・交流利用施設 ③

#### 友好の家 周辺環境の状況 (国後島古釜布 ふるかまっぶ)



開館当時の風景 (平成11年度開館)  
(平成16年度第2回訪問)

- 右側が友好の家玄関。
- 正面道路(グネチコ通)は未舗装。



最近の風景 (平成26年度第1回訪問)

正面道路(グネチコ通)が舗装されたほか、交通標識が設置され(写真左)、付近には銀行ATM店舗やバス停留所も設置されました(写真右)。



平成18年度第5回訪問 友好の家玄関正面

## 交流の環境～視察・見学先・交流利用施設 ④

### 表敬訪問先の「行政府」庁舎ふるかまっぶ〔改修状況（国後島古釜布）〕



平成12年度第3回訪問  
※北海道東方沖地震（平成6年）被災後の仮庁舎（震災前は10頁）



平成20年度第1回訪問

### 《訪問団受入実務を行う公営企業の事務所（国後島古釜布）》



平成20年度第1回訪問



令和元年度第1回訪問



水産加工施設の状況



平成8年度第6回訪問（国後島）



平成8年度第4回訪問（択捉島）



平成16年度第2回訪問（国後島）



平成9年度第6回訪問（択捉島）



平成23年度第5回訪問（択捉島）※ギドロストロイ社の工場

## 交流の環境～視察・見学先・交流利用施設 ⑥

### 〈新旧〉郷土博物館（国後島古釜布）



平成23年度第1回訪問



令和元年度第1回訪問

※旧館（左）はアパートの地下にありましたが、新館（右）は文化会館横の旧図書館建物に平成28年に移設されたものです。

### 《展示品》



左は戦前の島内の写真、右は国後島の動物の展示（令和元年度第1回訪問）

### 〈新旧〉オダイバケ温泉（択捉島）



平成11年度第5回訪問



平成24年度第6回訪問



〈新旧〉診療所・病院（色丹島）



平成19年度第6回訪問



平成22年度第4回訪問

旧診療所



《診療所内の病室・診察室》平成19年度第6回訪問

新病院



平成28年度第1回訪問

## 交流の環境～商品の流通等の状況

### 事業が始まった頃の四島内の食料品店（陳列棚）



平成5年度第6回訪問（国後島）



平成6年度第1回訪問（国後島）

### 最近の四島内の食料品店（陳列棚）



平成30年度第2回訪問（色丹島）



令和元年度第5回訪問（択捉島）



令和元年度第1回訪問（国後島）



平成18年度第2回受入（根室港）  
※写真は四島へ帰島の際の荷物



## 交流の環境～渡航用の船舶

1992(平成4)年度～ コーラル・ホワイト号(日本側用船)



平成4年度第2回訪問(花咲港内)

- 運航会社:  
(株)マリン・アドベンチャー
- 諸元:  
総トン数334トン  
航海速力11ノット  
旅客定員89名(旅客定員は平成10年の改修後のもの)

2005(平成17)年度～ ロサ・ルゴサ号(日本側用船)



平成19年度第1回訪問(国後島古釜布沖)

- 運航会社:  
(株)藤由商店(船舶運航部)
- 諸元:  
総トン数480トン  
航海速力12ノット  
旅客定員90名

2012(平成24)年度～現在 えとぴりか号(日本側用船)



平成29年度第3回受入(根室港内)

- 運航会社:  
(株)マリン・アドベンチャー
- 諸元:  
総トン数1,124トン  
航海速力15ノット  
旅客定員84名

※えとぴりか号は「四島交流等事業使用船舶」として長期備船されているもの。(51頁参照)  
※令和2年度に病室の拡充や船内換気の強化など感染症対策工事を実施。

四島側用船



**M.ツベターエワ号**  
(平成4年度第2回受入 (花咲港内))



**チトフカ号**  
(平成6年度第1回受入 (花咲港内))



**I.ファルフトジーノフ号**  
(平成16年度第1回受入 (花咲港内))

四島側港湾 (岸壁) への移動用のはしけ (舢舨)



**友好丸** (平成19年度第6回受入)



**希望丸** (平成13年度第2回訪問)

※四島において通常利用する港湾は、内岡港 (択捉島)、古釜布港 (国後島)、穴澗港 (色丹島) の3港です。天然の良港の穴澗港では岸壁に直接接岸し乗下船します。それ以外の港では、「はしけ」に移乗し乗下船を行います。



## 交流の環境～島内移動用の車両

### バス・オフロードバス（トラックバス）・オフロード車



平成4年度第1回訪問（国後島・バス）



平成4年度第1回訪問（択捉島・オフロードバス）



令和元年度第3回訪問（国後島・オフロードバス「ウラル」）



平成16年度第6回訪問（国後島・オフロード車）

## 交流の環境～救難警備の船艇

写真は、渡航船舶に伴走航行する海上保安庁の巡視船です。



平成7年度第1回訪問（根室沖合）



平成16年度第6回訪問（根室沖合）



平成29年度第1回訪問（根室沖合）



## 交流に係る行事の変わり様<sup>よう</sup>

- 北方四島交流訪問事業は、交流プログラムの他、結団式等種々の行事で構成されています。交流の積み重ねによって率直な対話が可能となったことなどに伴い、こうした行事の行い方や様子も変わってきました。

### 結 団 式



初期の結団式の様子です。「固めの盃」は今ではみられません。

[平成5年度第1回訪問(根室市)]



最近の写真のように、結団式と併せて事前の研修会に重点をおいています。

[平成29年度第2回訪問(根室市)]

### 出 発 式



初期の出発式の様子です。スーツ・ネクタイ姿の男性が前面に整列しています。

[平成4年度第2回訪問(花咲港)]



最近、写真のような、四島内での動きやすい服装を勧めています。ちなみにハーフパンツ姿の団員は四島内ではジャケット・スラックス姿でした。

[令和元年度第3・4回訪問(根室港)]

※後継者訪問・整列前

# 交流に係る行事の変わり様<sup>よう</sup>

## 「行政府」表敬訪問



初期の表敬訪問の様子です。執務室のような場所で対面で堅苦しうに挨拶を交わしています。

[平成6年度第1回訪問(国後島)]



最近の表敬訪問の様子です。会議室のような場所で口の字の形で座り、気どらない様子で挨拶等を交わしています。

[令和元年度第3回訪問(国後島)]

## 記者会見



初期の記者会見の様子です。日章旗と北海道旗を背に臨んでいます。

[平成5年度第1回訪問(根室市)]



最近では写真のように北方領土のロゴ入りのバックボードを背に記者会見を行っています。日本人を代表する民間使節団の団長、または、一員として訪問の所感等を述べています。

[平成30年度第5回訪問(根室市)]



## 交流の促進 ～ 食 ～

- 北方四島交流事業では、ホームステイ・ホームビジットでの家庭料理や交流会でのもてなし料理（ロシア料理・日本料理）が交流を促す重要な役割を果たしています。
- ここでは、「交流の歩み」で掲載しきれなかった写真のうち、「食」にまつわるものを何枚か掲載し、編集後記といたします。

### 【最近は見られないメニュー・野外での食事等（一面では洗練化）】



毛ガニ（平成4年度第1回訪問（択捉島））



花咲ガニ（平成16年度第5回訪問（色丹島））

※右の写真の花咲ガニは、一見グロテスクに見えますが、島内では比較的高価なため住民の方も普段は食しないものが供されたものです。あまりに沢山あるので、通りがかりの住民にも提供され、交流の広がりに一役買いました。



ナプリロージェ

「自然の中で食べる」との意味で、ロシア人が好む食文化です。ただし、この別飛(べっとぶ)の海岸は虫が多く大変だったとのこと。

〔平成9年度第6回訪問（択捉島）〕



シャシリク

野外パーティーなどで人気のある肉の串焼き料理。

〔平成10年度第2回訪問（色丹島）〕

※初期の頃は、島内は、トイレの設備が不十分であり、また「公衆」トイレがない（又は限られる）状況にあったことから、訪問団は携帯トイレを持参していました。野外での食事の際を含めて、大変苦労していました。

## 交流の促進 ～ 食 ～



船上の食事（平成5年度第3回訪問）



船上の食事（平成17年度第4回訪問）

※右の写真は、受入事業を終え帰島するロシア人住民とこれから訪問する日本人が乗り合わせたものです。

船内では食事の機会等を通じて訪問団員の間の情報交換等もとより、乗り合わせたロシア人住民との情報交換等も行われています。



左の写真は、当該訪問当時に国後島にあった地ビール会社（家族経営）を訪問し、試飲をしている様子です。

〔平成8年度第6回訪問（国後島）〕

右の写真は、友好の家で供された朝食です。ソーセージは、サルデリカと呼ばれるものでロシア人がよく食するものです。添えられているのは、ライスです。（溶かしバターをかけており、ご飯（白飯）とは味が違います。）

〔令和元年度第3回訪問（国後島）〕







# 資料

---



## 北方四島交流をめぐる主な出来事（主要事項年表）

（令和3年末現在）

年月	関係事項	備考
1986. (昭和61)	8. ・北方墓参が再開（昭和39年から断続的に実施。昭和51～昭和60年は中断。）	旅券・査証なしの身分証明書による特別な方式
1989. (平成元)	9. ・政府が、北方領土問題解決までの間、日本国民の北方領土入域の自粛を要請	
1991. (平成3)	4. ・ソ連側から日本国民と四島住民の交流の拡大等について提案（日ソ共同声明）	ゴルバチョフ大統領の訪日
	10. ・日ソ外相間の往復書簡により相互訪問の枠組みの設定 10. ・政府が、上記枠組みによる四島訪問について閣議了解し実施手続等を制定	ソヴィエト連邦解体・ロシア連邦誕生（12月）
1992. (平成4)	2. ・北方四島交流北海道推進委員会の設置	四島交流の推進組織
	4. ・四島側の訪問団の受入。四島住民に対する人道支援の実施	四島交流の開始
	5. ・日本側の訪問団の訪問	
1993. (平成5)	4. ・北方四島交流推進全国会議の設立	四島交流の全国的な推進組織（平成15年度以降は北対協が引き継ぎ）
1994. (平成6)	10. ・北海道東方沖地震災害に伴い四島交流を一部取り止め	緊急人道支援の実施
1998. (平成10)	2. ・北方四島周辺水域における日本漁船の操業に関する協定の署名	
	4. ・「川奈首脳会談」において「専門家」への訪問枠の拡大を両首脳が歓迎	エリツィン大統領訪日
	4. ・政府が、「専門家」の訪問について閣議了解し実施手続等を制定	
	7. ・日本野鳥の会による訪問	初の専門家訪問
1999. (平成11)	11. ・「モスクワ宣言」において「自由訪問」の実施の合意	小淵総理の訪口
	9. ・政府が、「自由訪問」について閣議了解し実施手続等を制定 9. ・自由訪問団が歯舞群島（志発島）を訪問	初の自由訪問
2000. (平成12)	2. ・北海道立北方四島交流センターの開設（所在地：根室市）	愛称「ニ・ホ・ロ」
2009. (平成21)	7. ・北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律の改正	四島交流事業の法律上の定義等
2010. (平成22)	5. ・訪問・受入事業のプログラムとして新たに住民交流会を開始	
2012. (平成24)	5. ・四島交流等事業使用船舶「えとびりか」の供用開始	
2016. (平成28)	5. ・「今後の北方四島交流事業の効果的な推進について」の発表	内閣府、外務省、北海道、北対協、北方同盟、千島連盟の6者連名
2017. (平成29)	6. ・北方四島における共同経済活動に関する官民現地調査団の派遣（3島）	
	9. ・航空機を利用した特別墓参の実施（国後島・択捉島）	初の航空機墓参（平成30年、令和元年にも実施）
	10. ・北方四島における共同経済活動に関する官民現地調査団の派遣（3島）	
2018. (平成30)	10. ・北方四島における共同経済活動に関する「ビジネス・ミッション」の派遣（国後島・択捉島）	
2019. (令和元)	8. ・北方四島における共同経済活動に係るロシア人ゴミ処理専門家の関連施設視察（根室市）	
	9. ・北方四島における共同経済活動に係る日本人専門家の関連施設視察（国後島）	
	10. ・北方四島における「観光パイロットツアー」の実施（国後島・択捉島）	10～11月実施
2020（令和2） ～ 2021（令和3）	・新型コロナウイルス感染症をめぐる状況により、四島交流等事業が中止	四島交流（専門家含む）、北方墓参、自由訪問、四島住民に対する人道支援のいずれも中止

※上記は「われらの北方領土」等の資料により北方四島交流に関連する事項を当方の責任において整理したものである。

## 北方四島交流による相互訪問の回数・人数（実績表）

（令和3年度末現在）

年 度 （西 暦）	訪 問						受 入						合 計					
	北海道内団体分				（全国分）		北海道内団体分				（全国分）		北海道内団体分				（全国分）	
	道推進委分						道推進委分						道推進委分					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成4（1992）	5	223	6	268	6	268	2	147	5	232	5	232	7	370	11	500	11	500
平成5（1993）	5	236	6	282	9	418	5	266	6	273	8	406	10	502	12	555	17	824
平成6（1994）	3	143	4	189	7	324	4	275	4	275	6	342	7	418	8	464	13	666
平成7（1995）	5	237	5	237	8	371	5	292	5	292	7	426	10	529	10	529	15	797
平成8（1996）	6	282	6	282	9	422	4	277	4	277	7	420	10	559	10	559	16	842
平成9（1997）	6	282	7	324	11	460	6	280	6	280	8	419	12	562	13	604	19	879
平成10（1998）	6	286	6	286	12	430	5	297	5	297	9	443	11	583	11	583	21	873
平成11（1999）	6	363	8	415	16	687	6	295	6	295	9	429	12	658	14	710	25	1,116
平成12（2000）	6	358	8	408	15	658	5	312	5	312	9	474	11	670	13	720	24	1,132
平成13（2001）	6	378	6	378	16	686	7	318	7	318	11	527	13	696	13	696	27	1,213
平成14（2002）	6	362	6	362	14	662	4	162	4	162	8	349	10	524	10	524	22	1,011
平成15（2003）	5	313	5	313	11	546	6	254	6	254	10	454	11	567	11	567	21	1,000
平成16（2004）	5	288	5	288	16	639	6	241	6	241	9	437	11	529	11	529	25	1,076
平成17（2005）	6	351	6	351	15	691	6	206	6	206	8	360	12	557	12	557	23	1,051
平成18（2006）	5	282	5	282	13	534	6	204	6	204	8	352	11	486	11	486	21	886
平成19（2007）	5	260	9	291	17	542	6	199	6	199	9	284	11	459	15	490	26	826
平成20（2008）	5	256	6	260	14	515	6	192	13	215	15	337	11	448	19	475	29	852
平成21（2009）	5	251	8	275	15	525	5	178	9	200	11	324	10	429	17	475	26	849
平成22（2010）	6	312	11	344	18	584	5	181	9	201	11	321	11	493	20	545	29	905
平成23（2011）	5	207	10	236	17	460	5	176	9	197	11	317	10	383	19	433	28	777
平成24（2012）	5	251	12	297	19	548	5	184	10	207	12	330	10	435	22	504	31	878
平成25（2013）	3	191	10	236	17	503	5	181	10	203	12	299	8	372	20	439	29	802
平成26（2014）	5	252	11	288	18	550	4	171	8	188	10	310	9	423	19	476	28	860
平成27（2015）	4	184	10	222	15	416	4	199	8	217	9	267	8	383	18	439	24	683
平成28（2016）	2	127	8	162	15	422	4	199	8	214	9	249	6	326	16	376	24	671
平成29（2017）	5	255	8	272	12	514	4	209	9	229	11	352	9	464	17	501	23	866
平成30（2018）	3	194	8	228	11	416	4	201	8	218	10	340	7	395	16	446	21	756
令和元（2019）	5	258	13	309	17	565	4	191	9	213	11	332	9	449	22	522	28	897
令和2（2020）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
令和3（2021）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	139	7,382	213	8,085	383	14,356	138	6,287	197	6,619	263	10,132	277	13,669	410	14,704	646	24,488

- 注1. 「訪問」は、日本人の、また、「受入」は、四島在住ロシア人の訪問の回数、訪問した者の人数である。いずれも、四島交流の枠組みによるものであり、「専門家交流」を含む。北方墓参、自由訪問及び北方四島における共同経済活動によるものは含まない。
2. 「道推進委分」とは、北方四島交流北海道推進委員会（以下「道推進委」）が主催（実施）した事業に係るものである。なお、（独）北方領土問題対策協会（以下「北対協」）等との共催により実施した事業（但し主管分のみ。）を含む。
3. 「北海道内団体分」とは、北海道本島内に所在する団体が主催（実施）した事業に係るものである。（道推進委の他、「専門家交流」等によるものである。）北対協等、北海道本島外に所在する団体が主催（実施）したものを含まない。（北海道総務部北方領土対策本部調べ）  
 なお、「北海道内団体分」及び「道推進委分」の人数には、青森県以南からの参加者（団員）を含む場合がある。  
 （例）道推進委は、主に北海道本島の者の訪問及び北海道本島への受入の事業を、北対協は、主に青森県以南の者の訪問及び青森県以南への受入の事業を実施しているところ、両者の共催事業においては、道推進委主管事業に一部青森県以南の、また、北対協主管事業に一部北海道本島の者（団員）が参加する場合がある。
4. 令和2及び3年度は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況により、いずれの事業も中止となった。





# 北方四島交流の軌跡

## ～写真でたどる「ビザなし」交流の30年～

---

発行日 令和5年2月

発行者 公益社団法人北方領土復帰期成同盟  
(北方四島交流北海道推進委員会)

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西3丁目3番地

敷島プラザビル3階

[URL]<https://www.hoppou-d.or.jp>

印刷・製本 株式会社 正文舎

---

令和4年度北方領土問題対策協会補助事業





# 北方四島交流の軌跡

～写真でたどる「ビザなし」交流の30年～



平成18年度第3回受入（青少年：根室管内1市4町）  
日青青少年共同創作の絵画「つくろう四島の未来」  
（根室市（ニ・ホ・ロ））